

寅さん歩 その 23

東京の博物館めぐりー15

新宿区ー3



平野 武宏

新宿区の博物館めぐりの続きです。写真右上の国立競技場は新宿区（すぐ隣は渋谷区）にあります。本来ならば2020年7月は日本国内で一番盛り上がっている場所です。区内に多くある博物館（記念館・資料館・展示館等を総称します）から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。博物館の多くは内部の撮影が禁止となっています。各博物館の詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表例と出口です。

バーチャルウォーク「中山道六十九次」の途中経過も報告します。

【日本オリンピックミュージアム】 新宿区霞ヶ丘4-2

最寄駅 銀座線 外苑前駅3番

東京2020のメイン会場の国立競技場の目の前に2019年(令和元年)9月14日にオープンしました。コンセプトは「みんなのオリンピックミュージアムで見て・触って・体験しながらオリンピックについて学ぶ」です。日本のオリンピック・ムーブメントの発信拠点とのこと。寅次郎、2019年11月に訪問した際の写真です。写真下左は入口前(後ろは国立競技場)、下中は入口、下右はパンフレットです。1階ウエルカムエリアは無料、2階エキジビジョンエリアは有料で一般500円、65歳以上400円、高校生以下は無料です。開館は10時~17時、休館日は月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始などです。



〔宮城道雄記念館〕 新宿区中町 35 最寄駅 大江戸線 牛込神楽坂駅 A2

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行い、5月27日から再開館しています。駅から地上に出て右手の道を直進、二本目の道を右折、「中町公園」の前にあります。1978年（昭和53年）12月に開設された「現代邦楽の父」と称される「宮城道雄記念館」です。音楽家としての日本で最初の記念館とのこと。写真下左は記念館の入口、写真下右は記念館の庭にある生前書斎として使われていた離れ「検校の間」（国登録有形文化財）です。第1展示室には愛用の箏「越天楽」、道雄考案の「八十絃」などの収蔵品が展示。第2展示室で名曲「春の海」の視聴ができました。



宮城道雄は8歳で失明の宣告を受けて以後、自らの道を箏曲に定め、やがて西洋音楽の要素を邦楽に導入することによって、新しい音楽世界を開拓し続けました。また、八十絃など楽器の開発と改良を行う一方、優れた演奏家、感性豊かな随筆家と多方面に活躍されました。残念なことに1956年（昭和31年）6月25日未明、関西演奏旅行へ向かう途中、刈谷駅付近で急行「銀河」より転落、62歳の生涯を閉じています。開館は10時～16時30分、休館日は日曜、月曜、火曜、祝日、春季休館（3月25日～3月27日）、夏季休館（8月1日～8月10日）、年末年始休館（12月25日～1月5日）です。入館料は一般400円、大学～中学生300円、小学生200円です。

〔釣り文化資料館〕 新宿区愛住町 18-7 最寄駅 新宿線 曙橋駅 A1

「釣り文化資料館」は駅から地上に出て靖国通りを左方面に進み、最初の坂道を上った所にあります。四谷寺町へ出る坂道で江戸時代から「暗坂（くらやみさか）」と呼ばれていた坂の途中で説明板がありました。

今や和竿や魚籠など、名工の手による伝統的な釣具は次第に影をひそめようとしています。散逸の危機に瀕した、それらの釣具や関係資料を保存し後世に残したいとの思いから、(株)週刊釣りニュースを創設した船津重人は1989年(平成元年)に、釣りの分野では全国初の本格的な公開施設として「釣り文化資料館」(写真下左)を開設したとのことです。ホームページで確認すると新型コロナウイルス感染拡大予防の対策を行い、6月22日から再開館、7月末までは月曜日のみ開館で事前予約が必要と知り、メールで7月6日11時を予約しました。訪問者は寅次郎ひとりでした。8月からの開館は平日10時~17時、休館日は土・日曜日、祝日、年末年始です。



写真上は各種和竿、魚籠の展示で全国から寄贈された伝統的釣具も含めているとのこと。江戸和竿は海(10)、淡水(8)、江戸前三大釣りの古典(3)と種類が多いのに驚きました。写真上右はパンフレットに掲載の名工品です。

釣り好きにはたまらない場所ですが、寅次郎、新入社員の時に釣り好きな上司に誘われた初の海釣りでは船酔いを体験、苦しんだので海釣りは苦手です。

〔民音音楽博物館〕 新宿区信濃町8 最寄駅 JR 信濃町駅

信濃町駅前の慶応義塾大学病院と煉瓦館の隣にあります。音楽文化の発展と興隆に寄与することを目的に設立。前身は1974年(昭和49年)に設立された民音音楽資料館で2003年(平成15年)東京都より登録博物館として認可された世界でも数少ない音楽博物館のひとつです。ホームページで確認すると新型コロナウイルス感染拡大予防の対策を行い、7月7日から再開館、展示室は1日2回、各10名の事前予約とのことで、7月7日12時30分を予約して訪問しました。訪問者は寅次郎の他1名で貸し切り状態です。受付嬢、案内嬢、説明嬢は全員マスク、フェイスシールド姿でした。写真下左は建物全景、写真下右は正面入口です。



展示室は階段を上った2階ですが、1階ロビーには自動パイプオルガン(ドイツ ウエルテ社 1900年頃製作)が置いてあります。



古典ピアノ室に案内され16世紀~20世紀に亘るチェンバロ、古典ピアノ等14台が展示され、説明を受けた6台の生演奏による音色を楽しみました。モーツァルトなど偉大な音楽家が聞いたであろう音色を耳にするのは大感激。次は隣の自動演奏楽器展示室に案内され200年前からのオルゴールや蓄音機が展示されていて、説明を受けた5台の音色を楽しみました。

トルストイも鑑賞したこともあるという音色と言われ大感激です。
この展示室は演奏していない時の撮影が可でした。写真下をご覧ください。



以降は順路に沿って自由に見学です。楽器展示室(写真下)には彩色豊かな民族のユニークな楽器が展示されています。



企画展示室では「小泉文夫と遥かなる音楽の旅」展Ⅱ シルクロードを結んだ交流の軌跡 が行われていました。

当分の間の入館は事前予約制で展示室は火曜日～土曜日 12時30分 10名、14時 10名。ライブラリーは火曜日、木曜日、土曜日 12時30分 5名、14時 5名とのことです。

【統計資料館】 新宿区若松町 19-1 総務省第2庁舎敷地内

最寄駅 大江戸線 若松河田駅河田口



ホームページで確認すると新型コロナウイルス感染拡大予防の対策を行い6月11日から再開館、事前予約が必要なので、7月8日10時を予約して訪問しました。駅から大久保通りまで行き、左折し進むと左側に総務省第2庁舎(統計局)(写真左)があります。訪問者は寅次郎ひとりでした。第2庁舎受付で身分を証明し入館証をもらいます。

「統計資料館」は 1871 年（明治 4 年）以来の政府統計 120 年を記念して 1991 年（平成 3 年）10 月 18 日の「統計の日」に開設しました。

「統計資料館」は第 2 庁舎から渡り廊下に行く別の建物ですが、この建物は翌日（7 月 9 日）から工事に入り、また、資料館は閉館となるとのことでグッドタイミングの訪問でした。再開館はホームページで知らせるそうです。

日本の統計の歴史〔第 1 回国勢調査は 1920 年（大正 9 年）〕や統計調査の仕組みを展示品やパネルなどで紹介。寅次郎の師、福澤諭吉は学んだ西洋の統計学で日本の統計学発展に寄与し、大隈重信（統計院初代院長）に協力し、大きな功績を残した偉人の一人と学びました。



国勢調査結果の集計に使われた機器類の展示で写真下左は昭和 5 年（複式自動分類機）と昭和 30 年（電子管式分類機）、写真下右は I B M705 磁気コアメモリです。写真下左のマスコットは国勢調査の平成 2 年（1990 年）誕生の男の子「センスくん」と平成 27 年（2015 年）誕生の女の子「みらいちゃん」と知りました。



〔バーチャルウォーク途中経過〕

八柳修之さん作成のバーチャルウォークコースが F W A ホームページ「Y R・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「中山道六十九次」に挑戦、7 月 7 日に日本橋を出立しました。7 月 18 日、日本橋から数えて 5 番目の上尾宿（37.1 k m）に到着です。約 10 里、♪お江戸日本橋「七つ立ち」（4 時）♪の旅人の最初の宿です。

八柳修之さんから中山道を歩いているとの連絡がありました。
今、中山道を歩いている方・これから歩く方は連絡ください。「旅は道連れです。
ゴールを目指して、どこぞの宿でお会いして一献傾けましょう」。
写真下右は現在の上尾駅前です。



しばらくは例会やYRがお休みですので、自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。
FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。
歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！
ウォーキングで人との距離(2m以上)が確保できる場合はマスクを外して、熱中症にもご注意ください！

次回は 東京の博物館めぐり-16 です。

平野 寅次郎 拝